

八上校区まちづくり協議会広報誌

やかみ高城

第九号

発行日：平成25年1月1日
発行者：八上校区まちづくり協議会
人口：2,308名(878世帯)
男1,117名 女1,191名
(平成24年11月末現在)

新年のごあいさつ

みんなで考え、力を合わせて、
明日の八上を築こう

八上校区まちづくり協議会

会長 池田 正男



八上校区の皆様、明けましておめでとございます。
新たな年を迎え、この一年が輝かしい年であることを願うとともに、皆様のご多幸とご健勝をお祈り申し上げます。

八上校区まちづくり協議会は、平成22年3月、校区の住民を構成員として、自治会長会、PTA、老人会、その他各種団体が参画して、結成されました。

その趣旨は、「住民が、自分たちの地域をみんなで考え、自らの力で良くしていこう、住みやすくしていこう」とするものです。この活動を「まちづくり」と表現しています。
さて、平成24年10月14日の丹波新聞に、「篠山市各地区 年少・高齢人口比率」が掲載されていました。

八上校区の欄(下表参照)を見ますと、他地区同様、少子高齢化が如実に表れています。
現在当校区は、14集落、平成24年11月末現在、878世帯、人口2308名(男1117名、女1191名)、八上幼稚園児35名、八上小学校児童124名、篠山中学校生徒72名、75歳以上の方393名を数えます。
一つの例として、少子高齢化の実



旭昇る高城山(提供者 大路 靖氏)

Table with 3 columns: 八上小学校区, 年少人口比率, 高齢人口比率. Lists various neighborhoods like 池上, 港, 京口団地, etc.

「篠山市各地区年少・高齢人口比率」(平成22年10月1日現在)

※年少人口比率:15歳未満人口が全体に占める比率
※高齢人口比率:65歳以上人口が全体に占める比率
※丹波新聞掲載記事に平均欄加筆
※(参考) 限界集落:65歳以上人口が全体に占める比率50%を超える集落

態を取り上げました。統計資料と現在の数字に時間差がありますが、これらの数字の裏に、校区の現在・未来の諸問題があります。

八上校区まちづくり協議会は、校区の皆様を主役として、結成趣旨を実践し、明日の八上を、築いていきたいと考えています。
今年も、どうぞ私たちの活動に格別のご理解、ご支援を賜りますようお願いいたします。

八上校区敬老会

福祉部部長 志儀 正己

平成24年度の敬老会は、市内全域においての招待者数が7418名となりましたが、八上校区では393名の方達へ招待状が届けられました。
9月17日の敬老会当日は風が強くなり暑い日となりましたが、大勢の皆様のご参加を得ることができました。
会場の舞台に掲出しました鶴と亀の絵は、高城美術同好会の協力で新調できました。

式典では小学6年生がリコーダ演奏による歓迎セレモニーから始まり、挨拶、米寿の方へのお祝品の贈呈、祝辞があり演芸の部へと進行して行きました。



親子狂言「しびり」 6年生「リコーダ演奏」



敬老会(八上小学校講堂)

八上うたおう会・高城舞踊教室の皆様による歌唱と舞踊の熱演が続き、会場が盛り上がりつつありました。
最後の演目は、ささ山狂言会の丹後政俊・龍太郎さん親子の狂言の「しびり」です。小学生のご息子の狂言は初演とお聞きしておりましたが、演技が始まると流石は親子、ピタリと合った息のよさ、遠方への使いを頼む親としびれを口実に断る子との言葉のかけあい・しびれの演技と仕草を見て、会場は爆笑の渦に吞み込まれ、見入っている間に時の経つのを忘れ幕となっていました。

会場は余韻を残した中での招待者代表からお礼の言葉があり、閉会では健康に留意して戴いて、来年もこの場所でお出あい出来ることを願って散会となりました。
最後になりましたが、敬老会に出

演じて戴いた方々、設営準備に携わって戴いた皆さん本当に有難うございました。

第29回 親睦運動会

体育部副部長 柳瀬 敏

親睦運動会が、10月7日(日)午前9時より開催されました。

八上校区14自治会約250名が、八上小学校に集まりました。競技は、午前の部に青空ボール、むかで競争、一般玉入れ、綱引き、作戦リレーの予選などが行われました。

午後の部に入り仲良しゲートボールが終ると、いよいよ優勝のかかる各種目の、決勝が始まりました。最初の決勝戦は、綱引きです。緊張の高まった中、始まり、お互い力関係は、互角同士なので一進一退の攻防が続きました。

続いて最後の種目の作戦リレーが始まりました。観客席からも、歓声が上がりが今日最高の盛り上がりを見せました。

そして、閉会式へと移り成績発表となりました。
最後になりましたが競技に参加された方、又観客席から応援を送られた方本当にご苦勞様でした。



親睦運動会(八上小学校グラウンド)

Table with 7 columns: 総合成績, 種目別順位, 青空ボール, むかで競争, 一般玉入れ, 綱引き, 作戦リレー. Lists results for 7 classes.

第四回 八上ふるさと塾

「阪東直三郎日記を読み解く」

地域おこし部会 池田正男

平成24年10月21日(日)、高城会館に於いて、19名の参加者により開催されました。

篠山藩士族、明治期に木綿ベルトを發明して現「バンドー化学」(神戸市)の創立に携わった阪東直三郎(1852-1909)は、満18歳の明治4年元日から明治7年2月15日まで、約3年間の日記を残しています。

この日記について小多田在住の小野守之さんが講演されました。その内容は、阪東直三郎は、14歳の時、著名な阪東篤之輔の養子となり、18歳には篠山藩庁の押伍官(警察官)として勤務していますが、生活は酒興三昧の日々でした。

明治4年5月から11月まで廢藩置懸の混乱予測警備のため、藩より東京へ軍事出張を命ぜられ、東京市中取締役として勤める一方東京の名所

◆◆◆自治会だより◆◆◆

平成生まれの自治会

京町南自治会長 松元信久

自治会の成り立ちは、昭和63年に「八上小学校の南側隣接地」で分譲開始された新興住宅地です。平成元年に「京町南自治会」として正式発足しました。現在20世帯61名で構成しているこじんまりとした自治会です。

新興住宅地とあって、20世帯ほとんどの世帯が八上校区外からそのうちの約半数は篠山市外からの転入者となっています。分譲当時若い世帯の方が多く、小学校に隣接しているということが入居を決められた方もいらっしゃいました。

地区内は昔ながらのコミュニティが存在し、とても生活しやすい温かな自治会となっております。新年会・とんど、2年に1回ですが

を見たり、馬で上野周辺を走ったり、淡い恋や悪所通いを記しています。帰篠以後、職を辞し、酒、吹き矢筒、鳥追い、魚捕り、けんか、相撲や神社の祭り見物、盆踊り等々に日を過ごし、次第に気屈(心の病)に侵されていきます。

それは、養父との葛藤、武士階級の行く末と自らの将来に対する不安などが原因と推測されます。

その後、神戸に職を求めますが、再び病気になる帰郷するところで日記は終わります。

明治初期の変革期に、20歳前後の青年が記す、心の叫びと共に当時の篠山の様子が描かれています。是非一読ください。

丹波古文書の会『阪東直三郎日記』篠山士族二十才の記録』平成23年6月 ロードス書房発行



八上ふるさと塾

「親睦日帰りバス旅行」などを行って地区内のコミュニケーションを深めています。

我々が八上校区の一員となり既に24年経過し、何かお役立ちできたとすれば少しだけ人口を押し上げた、たけかも知れませんが、これからも校区の発展に何らかの形で貢献できればと思っておりますので、今後とも我が「京町南自治会」をよろしくお願いたします。



京町南自治会(東より)